区分48	専門分野 生理学的検査	授業科目名	臨床生理検査学①	単位数	1単位 （20時間）
開講時期	2年　前期	担当教員	松田　一之	担当教員の実務経験	(有)・無

◆実務経験の内容

1982年～長崎市立市民病院にて、病理検査、輸血・移植検査、免疫検査、微生物検査、緊急検査業務など検体検査全般を担当。1997年～長崎市立市民病院にて、循環器系検査、神経・筋機能検査、呼吸器系検査、感覚機能検査、画像検査など、生理機能検査全般をを担当。2010年～長崎みなとメディカルセンター（旧長崎市立市民病院）にて、臨床検査部技師長業務の傍ら超音波検査など生理機能検査全般を担当。2015年～長崎みなとメディカルセンター事務部にて、診療報酬関連、病院経営管理などを担当。以上、39年間の病院勤務実績あり。

◆授業の目的・目標

・心周期を理解する。
・心音図検査における心雑音と疾患の関係を理解する。
・心エコー図における弁膜疾患と心雑音の関係を理解する。
・脈管疾患検査の臨床的意義と方法、結果の解釈ができる。
・感覚機能検査の臨床的意義と方法、結果の解釈ができる。

◆授業の概要・授業方針

・テキスト（教科書）に沿った授業とする。
・心音図、脈管疾患検査、感覚機能検査のレポート提出を必須とする。
・国家試験出題問題（過去問）を使って理解を深める。

◆テキスト・参考資料等

・最新臨床検査学講座「生理機能検査学」第2版　（医歯薬出版）
・必要に応じて資料を配布する。

◆成績評価の方法

・期末試験（8割）
・レポート点（2割）

授業計画		チェック欄
第1回	循環器検査の基礎、心周期と血圧（教科書P9）	
第2回	心周期と心音の成因、心音図記録の実際	
第3回	異常心音図（心雑音）・心エコー図から弁膜疾患・先天性心疾患を診断する。	
第4回	心音図レポート作成と提出	
第5回	脈管疾患検査（ABI、TBI、SPP、PWV、FMD）の臨床的意義、方法、結果の解釈	
第6回	脈管疾患検査レポート作成と提出	
第7回	平衡機能検査の臨床的意義、方法、結果の解釈	
第8回	聴覚機能検査の臨床的意義、方法、結果の解釈	
第9回	眼底カメラの臨床的意義、方法、結果の解釈	
第10回	味覚・嗅覚検査の臨床的意義、方法、結果の解釈	